審判講習会資料

2024年度

審判資格取得条件：TTrA

新規取得

[1] JTU第3種公認審判員資格（新規）

1）講習内容：講習会2時間以上。
2）受講資格：受講翌年度4月1日に18歳以上のJTU会員。

[2] JTU第2種公認審判員資格（新規）

1）講習内容：講習会3時間以上、大会審判・技術関連経験を評価。
2）受講資格：第3種資格者で2年以上、2大会以上の実績を有する者。

[3] JTU第1種公認審判員資格（新規）のTTrA理事会推薦条件

JTU第2種公認審判員での技術・審判業務を、複数の大会で3年以上継続的行い、4大会以上の実績を有し、かつエリート部門（ドラフティングレース）の審判経験を有する者。

更　新

【1】JTU第2種、及び3種公認審判員資格（更新）

1）更新は新規取得と同じ講習を受講する。
2）審判任期中に2大会以上の実績を有する者は更新講習を免除する。

【2】JTU第1種公認審判員資格（更新）

JTUの更新基準とする。

JTUの更新基準　第１種公認審判員資格

１）加盟団体ごとに更新の推薦基準を設ける。更新者は JTU 理事会が承認。
２）所属団体の理事会が申請を承認する。

審判員の基本の動きは

見届けること、未然に防ぐこと

審判員の対応には、「違反を確実に見届けてから判断する」ことと、「違反を起こしそうな選手に、注意を与える」という二つの方法がある。競技の現場では、両方を使い分けているといえる。

　また、失格を出さないよう注意を与えたいが、それができないという場面も多い。このため、競技規則には下記のように記載されている。

警告：審判員は、より厳しいペナルティーを宣告する前に、必ずしも警告を出す必要はない
警告の目的は、違反が予想される競技者に注意／警告を促すことと、審判員があるべき“自発的な心構え”を奨励することである。警告は、審判員の判断により発せられる

「審判員は、ルール違反を未然に防ぐことに務めなさい」ということを強調している。一方で、前述のように、「注意や警告ができないときでも、失格をだせる」ようになっている。

エリート部門　：「違反を確実に見届けてから判断する」
エイジ部門　　：「違反を起こしそうな選手に、注意を与える」

審判員＝マーシャルとは何か

記録の立証者

審判員は、**“選手の成果”を証明する。**
「正しい記録順位である」と明言できる。例え、**第三者から異議がでようとも、自信を持って“説得”できる。**これが何よりも重要なことである。

競技の背景を知り、選手の立場を考え、審判員から一方的でない分析があってこそ、自信をもって証明することができる。

しかし、審判といえども人間の判断能力には限界がある。これを補足するために記録を立証できる適切な体制をつくることになる。トライアスロンは、最良の運営があって、審判体制が整うものである。

審判員が対象とするのは、完全に再現することができない“競技者の連続した動き”であり、その動きは競技環境により著しく異なる。

「審判をしやすい環境とは、選手が競技しやすい環境」といえる。しかし、理想を求めすぎるあまり、現実を見落とすことがある。一方で、現実に甘んじるあまり、理想を忘れがちにもなる。

《理想と現実》を直視して、最良の環境をめざす。審判員だけで達成できるものではない。それゆえに、見る立場により価値の違う、多面的な情報に耳を傾けながら、競技記録を立証していくことを目指す。

記録の立証

事例

JTU猪谷名誉会長が、1954年にイタリアのコルティナダンペッツォの冬季オリンピックのアルペン競技回転で銀メダルを獲得した。
このとき、他国のコーチから旗門を正しく通過していないとの抗議があった。しかし、現場の審判員は、「自分の目で確実に見た、私は、ミスター・イガヤの2位を保証できる」と断言した。
「夢と希望に満ちた選手の記録を立証し、保証する審判員」となってほしい。第2種上級審判員面接での、猪谷会長の示唆に富んだコメントである。

選手・大会の安全を一番に優先！

その為の　TO(テクニカルオフィシャル)
（technical official）

◎大会の設定　コース.設営.説明.監視.誘導.判断そして審判

◎多様な知識.経験.資格.技術.行動力が求められます。

↓

常に最新の情報.経験を取り入れることが必要

選手経験は重要ではありません。

大会におけるオフィシャル

①技術代表(TD)　テクニカルデリゲート
②審判長(HR)ヘッドレフェリー→競技上の最終判断
（違反.着順確定）
③チーフテクニカルオフィシャル(CTO)→審判の監督
④審判員(TO)テクニカルオフィシャル
JTU1.2.3種審判員
→競技エリアに配置　与えられた権限の下に
規則に則って大会を運営
⑤審議委員会→抗議に対する裁定
構成1.JTU理事(所轄団体の理事)
2.主催者代表　3.技術代表

ドレスコード(大会期間中の審判の服装.持ち物)

オフィシャルライセンスグッズ

JLAオフィシャルライセンスグッズ	JTUオフィシャルライセンスグッズ

この商品の買い物カゴを開く ←をクリックすると商品の写真拡大＆注文ができます

なお、JTUオフィシャルグッズを加盟団体価格で購入希望の場合は、注文確認画面のコメント欄に「加盟団体名の明記」をお願いします。また、各役員・審判員の個人購入にあたっては、「会員番号・所属先役職」などが必要となります。

JTUオフィシャルグッズ

●商品番号J01 オフィシャルキャップ　サイズ　フリー
個人販売価格(税込み)￥2400

この商品の買い物カゴを開く

●商品番号J03 オフィシャルポロシャツ
【サイズは大きめです】
カラー：ホワイト×黒
サイズ：150・S・M・L・LL・3L
個人販売価格(税込み)￥5565

この商品の買い物カゴを開く

	150	S	M	L	LL	3L
着丈	61	64	67	70	73	76
身幅	46	49	52	55	58	61

ウェア購入

検索

クリック

スポーツアシスト社が
オフィシャルグッズ公式
代理店

※大きな大会だと出店す
るので出店するかどうかを
電話で確認
TEL：042-766-679

スポーツアシスト
http://www.s-assist.com/jtu-g/ajtu2-top.html

携帯品目

＜ウェア類＞
- ・JTU公式ウェア・キャップ類
- ・レインウェア上下（ビニールカッパやコートは、緊急時以外は不適）
- ・バイクマーシャルは、ヘルメットを持参する。（女子用は赤系を推奨）
- ・季節により手袋、防寒用具なども用意

＜認識証＞
- ・審判員証とビニールケース：会期中、審判員証をマーシャルウェアに掲示する

＜書類関係＞
- ・ルールブック
- ・ローカルルール
- ・マーシャル報告
- ・メモ帳（携帯筆記用具）

＜必須備品＞
- ・ホイッスル（バイクマーシャルは紛失に備え２個用意）
- ・イエロー／レッドカード
- ・安全ピン（レースナンバー外れに対応）

＜推奨備品＞
- ・携帯電話（雨天用ビニールホルダー）
- ・ハンディ・メガフォン
- ・電子メモリー機器

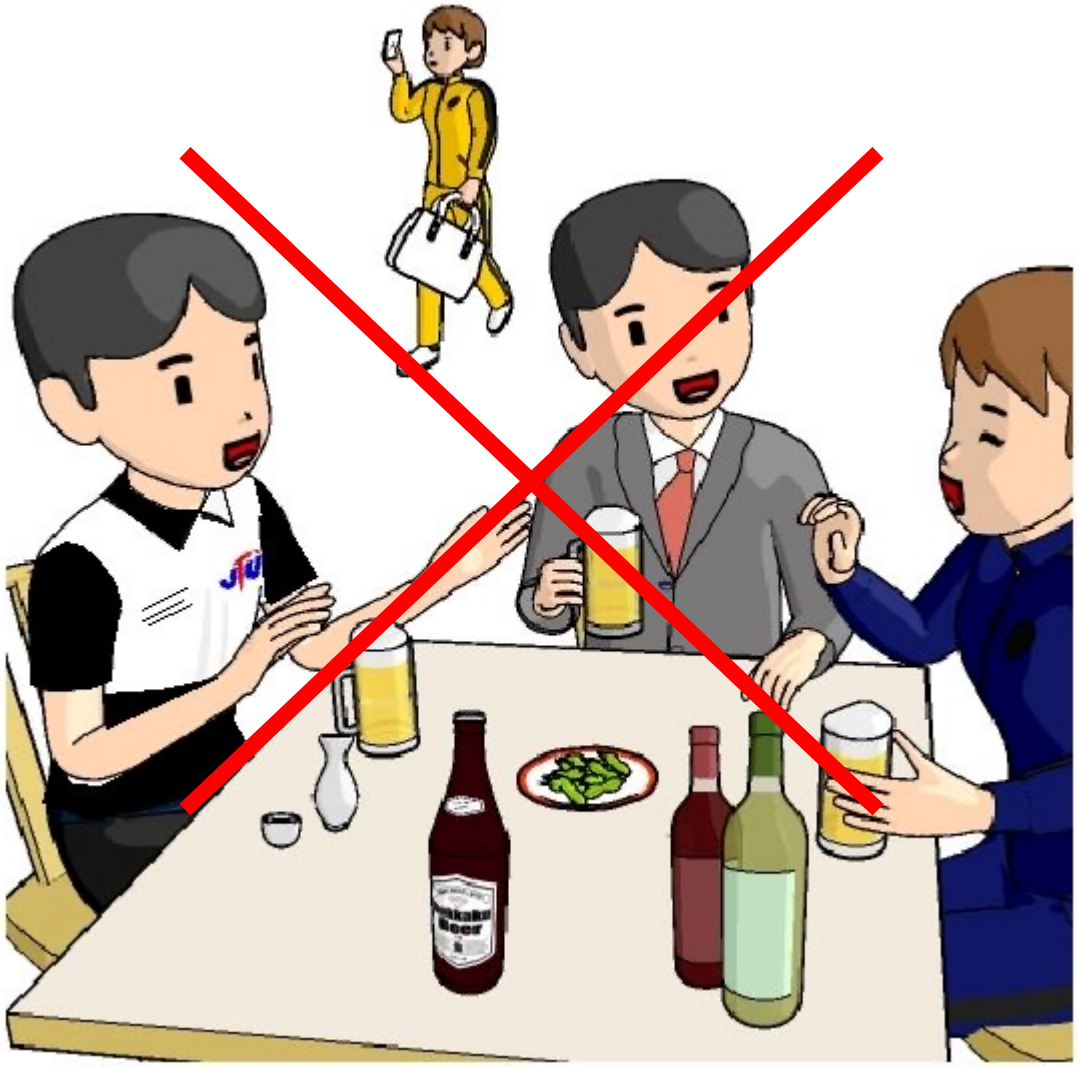
マーシャルジャケット
http://www.s-assist.com/jtu-g/ajtu2-top.html

TO（テクニカルオフィシャル）の行動規範

- 守秘義務
- マナー
- 選手の安全を守る
- 公平な態度
- フェアプレー
- 反社会的団体との交流をしない
- SNSへの投稿禁止

など

打合せ後に　町の居酒屋さんで乾杯!



TOウエアは
TPOをわきまえて
使用してください。

⇒この場合　着替えて私服で

大会中　レース合間に　仲間と選手の応援

・堅苦しくなる必要はありませんが・・・・・・・・・・
・通常.マーシャルミーティングまでがTOのお仕事です
・選手へは　誘導.指示がお仕事　応援は・・・違いますね

TO業務　お仕事中のこと　SNSにアップ!　ってどう思いますか？

SNSにアップだめです!

●選手をカットオフした。　●すごく暇だった。●キッツい仕事！　●〇〇選手　って.....

審判実務上のポイント

違反の未然防止

違反者を罰する意識よりは、違反を出さないための事前の指示・指導が必要である。「違反を起こしそうな選手の状況」を予測する目を養う。違反に対しては、「なぜそうなったか」の原因を究明し、本人の意識改善を促す。「納得の行く裁定」のための情報収集と分析が求められる。

違反の理由

ルール違反は、主催者と審判態勢の不備によっても起こる。これらを事前に指摘し、速やかに改善することが必要である。口頭での説明で十分と考えてはいけない。主要なことは、書面で、公式掲示板で、さらにアナウンスやその他可能な方法で、何回も説明を繰り返す必要がある。

判定規準

不安定な海や高速で競技するトライアスロンは、判定がむずかしい。そのため、裁定に当たっては、相互連携により総合的な判断ができるよう配慮する。

適切な判断のために情報を交換し、意見を交換する。それぞれの団体により主義主張が異なる場合があり、選手そして関係諸団体が、納得できるような裁定を心掛けなければいけない。

大会での審判員とスタッフの基本連携は、次のとおりである。

「大会スタッフ <==> 審判員 <==> 主任審判員 <==> 審判長 <==> 技術代表 <==> 実行委員長 <==> 大会会長 <==> 競技団体の理事会」

審判の選手アシスト範囲

選手の安全と公正な競技

競技がおぼつかないような選手には、「大丈夫ですか」と声を掛ける。その返事によって状況を確認することが有効である。

何の返事も反応もなければ、極限的な状況であることが予想される。「少し休んだほうがいいですよ」と、さらに声を掛け、状況を見守ることも必要である。この判断は難しいが、「**選手の安全はすべてに優る**」ことを原点としながらも、「公正な競技」と「特定選手とのかかわり過ぎによる他への配慮不足」との兼ね合いを考える。

業務進行中の審判員の対応は、必要事項を確認した後に、他のスタッフあるいはエイドステーションに連絡し、応援を願うのが適切であろう。　→完走を目指しているエイジ選手などに対し、**審判やスタッフが援助したとしても失格扱いとしない事は審判員の裁量範囲と考えたい。**

積極的な救護

選手に医療的救護を施すことは、大会医療スタッフの判断による。不安視される場合は、積極的に対応することがルール上も可能である。ドクター・ストップの範囲も審判員とメディカルスタッフが協議することである。

さらに、医師の判断により競技に復帰することも許容されるだろう。同時に、競技続行に不安ありと判断された場合は、審判員は、**競技中止を指示する権限も有している**ことを確認したい。

表現の方法がすべて

挨拶と和らぎ

選手に対する、技術・審判員の言葉あるいは文章での表現一つで感情が変わり、そして理解度が大幅に違ってくる。「主催者が作る案内がいかに分かりやすいか、審判員の話し方に思いやりがあり適切であるか」など、多方面に気配りをしたい。

心のなかでは敬意を表していたとしても、それが言葉となって出なければ、相手に伝わらない。主催者そして選手に対しても同様である。「挨拶で始まり、挨拶で終わる」当たり前のことを、審判員みずからが励行したい。

さらに、いかに正しいことを主張していても、その表現が、あまりに一方的で厳しすぎれば、相手は心を開いてはくれないだろう。

大会という緊張度の高い場面では、ことさら「相手に伝える表現力」を高めていかなければならない。一言のやわらいだ言葉が、怒りや興奮を吸収してくれることがある。

事例

「何々をすると失格です」という表現を「こうしてください」と口頭でも文書でも言い換える。これにより、受け取る側の気持ちは変わる。失格という言葉を断定的に使うこともときに必要だが、できるだけ言い換えてみたい。

あるローカルルールで、「スポーツ精神に反すると失格」とある。しかし、ここまで進んできたトライアスロンで、これをここまで強調する必要はないのではないか。また、この精神はJTU規則で網羅されている。

選手と審判員の信頼

通い合う信頼

「この審判に裁かれるのであれば異論はない（選手の思い）」
「この選手たちは絶対に意図的な違反を起こすことがない。競技中の水先案内人として白熱した選手たちを誘導する（審判員の思い）」。 このように、立場を越えた人間の意志が、通い合う大会であってほしい。

そのためにはどうしたら良いのか
キーワードは、選手に求めることを、審判員もすることである。選手に課せられた義務と同じことを、審判員にも義務として定義する。選手宣誓に対する“審判宣誓”。審判員のための“誓約書”。審判員のユニフォーム規定。ルールとマナーを守るのは、選手ばかりではない。それがあって、選手と審判員が、同じ真剣勝負の土俵に立つことができる。

ユニフォームと基本注意

社会人としての良識ある言動の基本は、日常の整った、その場に即した服装から始まる。人間はユニフォーム（制服）が、何となく緊張感を漂わせていることを感じるものだ。これを着用している人間に信頼感が生まれる。この人間心理は大いに審判業務に活用したい。
さらに、世界選手権やワールドカップでは、厳しい「ユニフォーム規定」が選手に適用されている。
「ウェアを正しく」というのは、審判員の管理事項であり、乱れたユニフォームに注意を与える立場である。注意を与える側の服装が不統一では、説得力に欠ける。

審判の行動規範

・守秘義務 ・マナー ・選手の安全を守る ・フェアプレー
・反社会的団体との交流をしない ・SNSへの投稿禁止

審判の選手アシスト範囲

精神的アシストと適応区分

「完走させてあげたい気持ち」審判員そして全員の気持ちである。
この精神が具体的行為として発揮されてよいのは、エイジグループ選手に対してのものと理解したい。
エリート選手に対しては、完走ではなく記録そして上位を目指して競い合っていることを理解する。
このようなエリートの熾烈な状況で、一方にのみ精神的なものであってもアドバンテージを与えることはフェアではないだろう。

◇公知の事実1

エイジグループ選手から、エイドステーションまでの距離、制限時間までの残り時間、を聞かれた場合、特にロングディスタンスの場合はこれに応えても良いだろう。

また、やっと走っているような一般選手に対して「あと少しでエイドステーションがある。ガンバッテください／ガンバレヨ」と声を掛けることは、不適当とはいえない。

しかし、エリート選手の場合は、ルールの適用が厳しくなる。競技に直接係わるようなこと例えば、前後の順位など選手状況を教えたりすることは不適である。　→現在は監督やコーチ、観衆が順位や前後選手との時間差を伝えることを禁止していない。
ただし、審判員としては控えるべきである。

◇公知の事実2

コース上で立ち止まっている選手に対しては、どのような状況であるかを確認そして報告を行い「救護を求める」ことが適切である。バイクのメカトラブルについては、大会の公式メカニックサービスが設置されている場合は、その地点を教えることは許容範囲内と判断される。

競技者の権利とは何か

- **選手と審判。主役は選手**

• 審判員は、選手に指示や注意を与え、警告や失格を宣告する。ときには、教育的指導が必要なこともある。
この図式から、選手はあたかも管理の“下”に置かれているようにみえる。

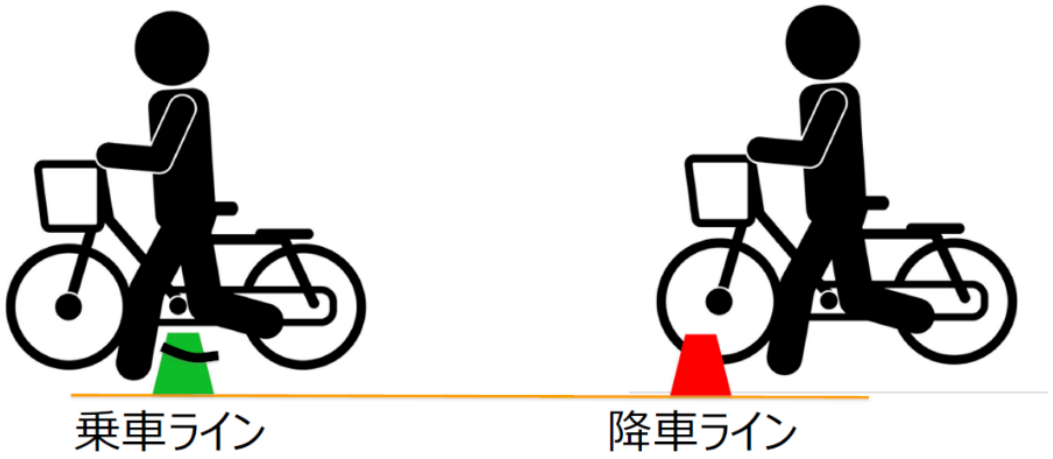
しかし、どのようなときも《主役は選手》である。審判員は、選手を下から支える“支える側の主役”といえる。
選手は、審判員から一方的に指示を受けるばかりではない。ルールから理解できるように、大会の改善要求を行い、意義を申し立て、上訴できる。さらに、上部組織にも意思を伝えることができる。

このように、ルールからも《選手の義務と権利》は一体となっている。正当な方法で権利を駆使するよう、審判員は、これを奨励し、選手の意見を集める努力をする。これにより、選手と審判員・主催者の“適度な緊張感”が生まれ、大会の質的向上の意識が芽生えてくる
。
審判員の心得は、「選手が意見を言いやすい雰囲気をつくる」ということである。耳の痛い話しにも、真摯な態度でこれを受け、誠心誠意これに答を出す。
この温和な関係により、大会そして競技団体という組織のなかで、問題を解決する自浄能力を高める。

- **スポーツをとおした《友好的な人間関係》をつくりあげていきたい。**

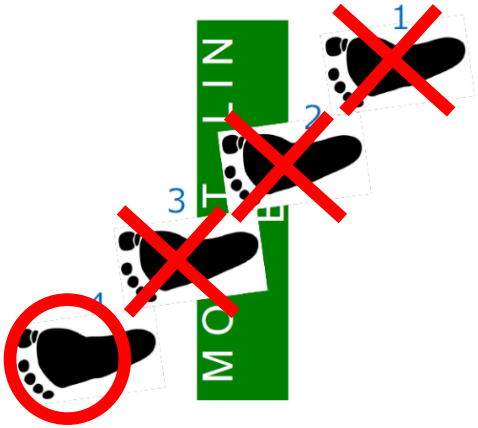
JTU競技規則

乗降車ライン(マウントライン)



乗車・降車ラインは、足の位置で判断する
足の裏全体が接地していること、つま先だけでは不可

乗降車ライン（マウント／ディスマウントライン）



どれがマウント違反でしょうか？

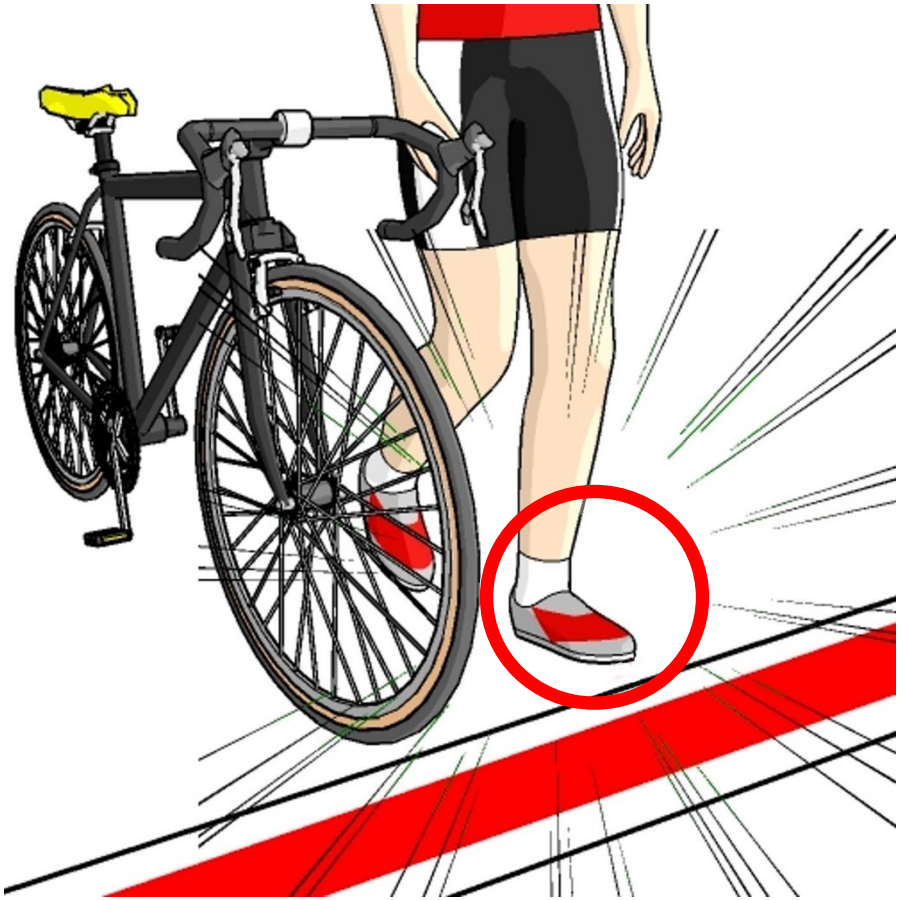
第３１条（競技用具）
（ストラップの着用）　＜96年改定＞
自転車に乗車中は、いつでもサイクリングヘルメットのストラップをしっかりと締めておかねばならない。
ヘルメット・ストラップは、「ラックからバイクを外す前にしっかりと締める」
フィニッシュ後は、「ラックに掛けてからストラップを外す」。
トランジションで、ストラップをあらかじめつないでおくことを禁止する。

乗降車ライン(JTUルール)全レース

乗車ライン

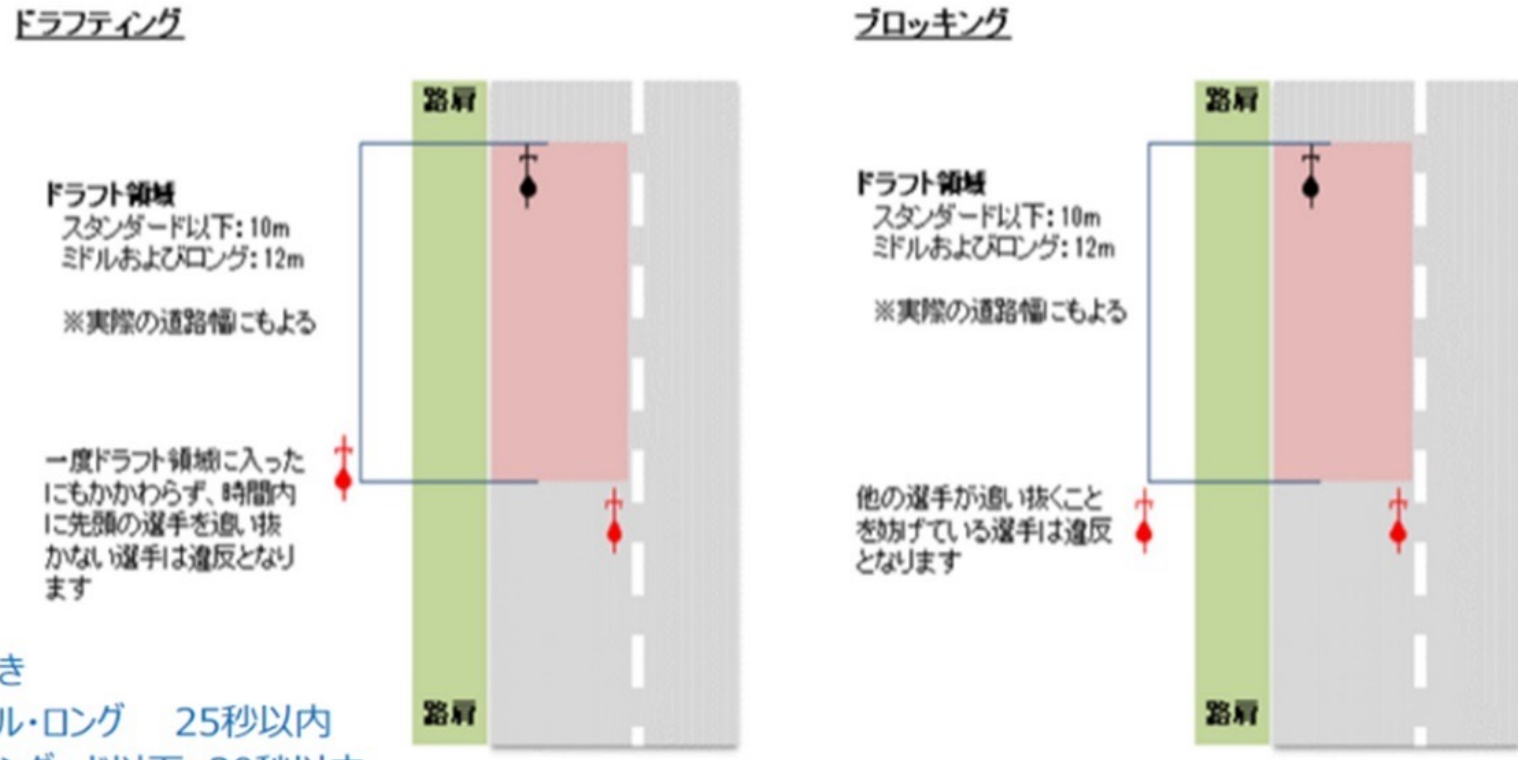
ラインを越えて片足を完全につく

降車ライン



ラインの手前で片足を完全につく

ドラフティング

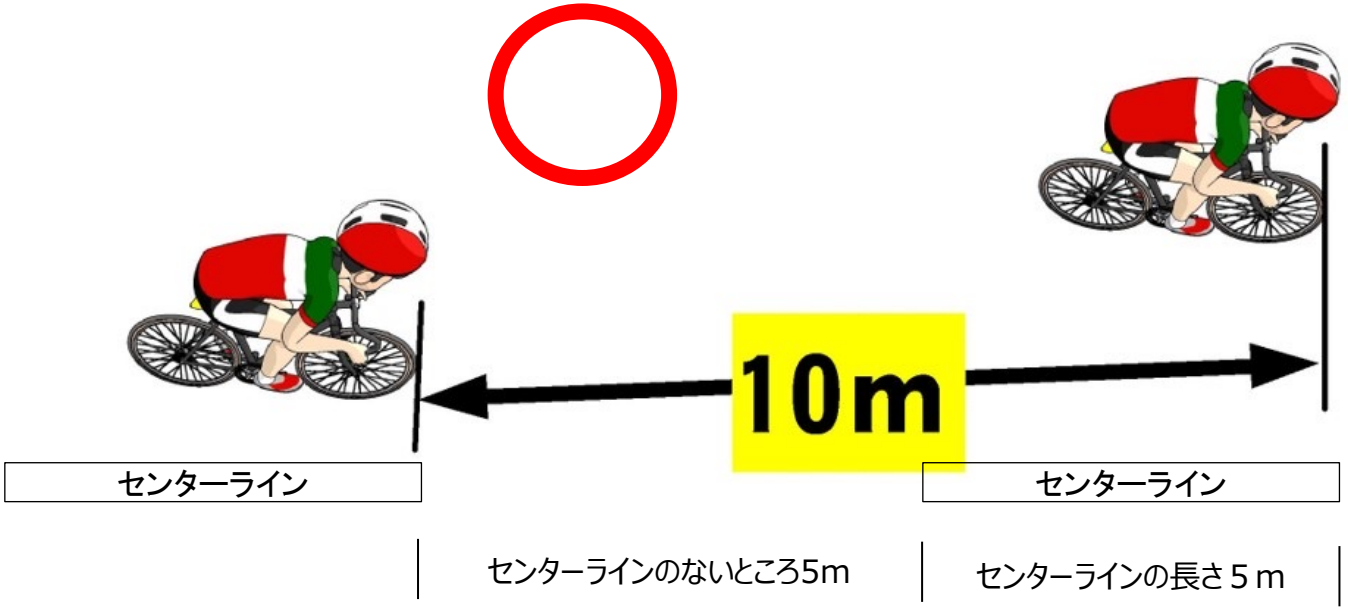


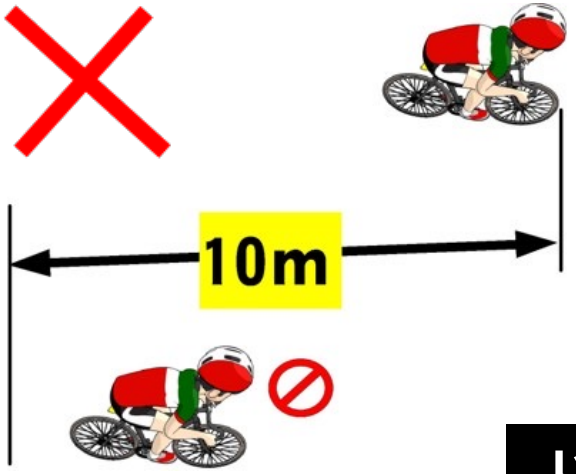
追い抜き

- ミドル・ロング　25秒以内
- スタンダード以下　20秒以内

※追い抜かされた選手は、5秒以内にドラフティングゾーンの外へ

ドラフティングゾーン





ドラフティング禁止！

競技に不必要な用具の使用できません。(必要な用具の不使用)

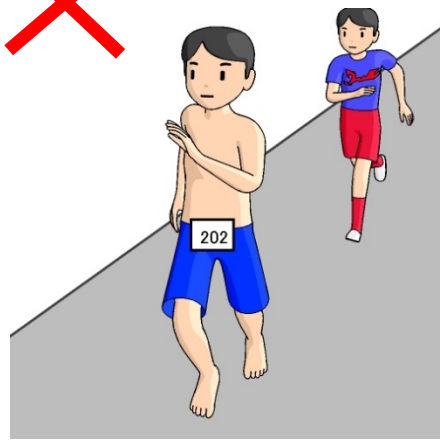
車載カメラ等のデバイス

ヘルメットマウントカメラ

仮装ヘルメット

スマホ等の通信機器/ヘッドホンの使用

競技に支障をきたす仮装



はだしラン・ウエア未着用

バイク競技でのペットボトルの使用は禁止

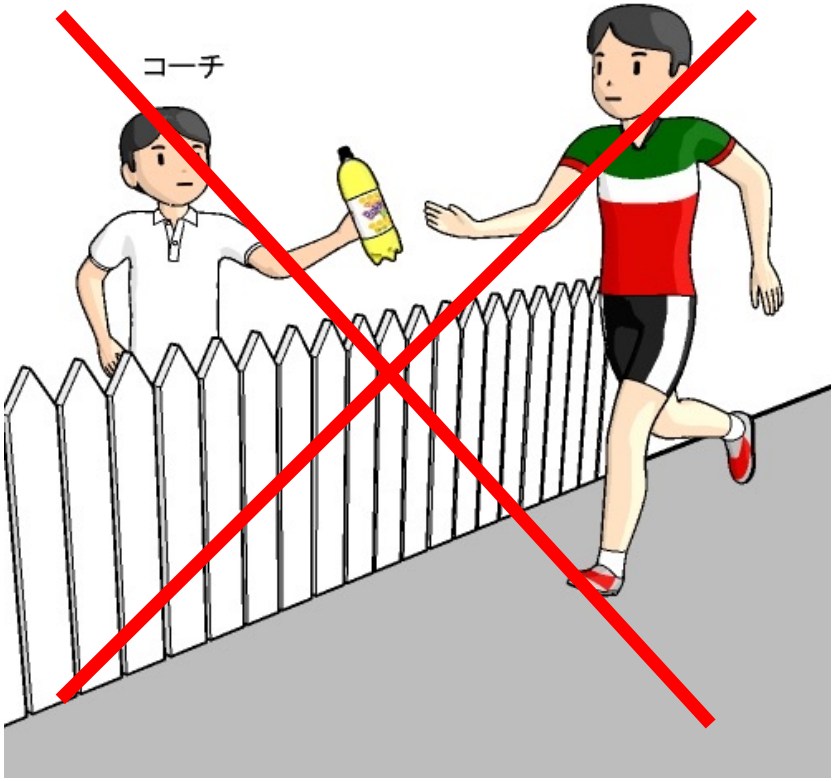
バイク専用のボトルをお使いください。

応援からの指示

拡声器を使って指示

肉声で

飲み物の受け渡し



コーチからのボトルの支給

選手同士での
エードでもらった水の受け渡し

罰則

■警告→選手への注意→違反を未然に防ぐ

ホイッスルを吹き　必要であれば停止させ

選手に行動の変更を求めた後　競技続行を許可

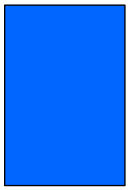
■タイムペナルティー

〇ドラフティング違反

・ロングディスタンス　　5分

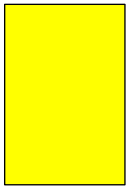
・ミドルディスタンス　　5分

・スタンダード51.5km　2分



ブルーカード

〇その他の違反



イエローカード

その他の違反とは？

・フライング(フォルス)スタート　(T1でペナルティ)
・トランジション内
　　ヘルメット
　　乗降車ライン
　　収納違反
・他の選手のエリアへごみの投げ捨て
・落とし物

など

まずエイジは注意　改善を求める。

※乗降車ライン落とし物については

乗車又は降車の際に、シューズや他の用具
を落とした場合、審判が回収し、ペナルティとしない。

ペナルティ

第122条

- すべての罰則の適用に際し、事前に注意が与えられることを条件としない。ただし、**審判は、違反状況が起こりそうなときは、事前に指導又は注意を与えることを基本**とする。
- 罰則の適用は、審判長又は審判によって宣告させる。ただし、その**最終決定権限及び責任は審判長が負う。**

第124条　罰則の種類

- 指導
- TP：タイムペナルティ
- SG：ストップ・アンド・ゴー
- DSQ：失格
- 資格停止
- 除名

ペナルティーボックスについて

ペナルティーリストにNoを掲示された選手は自主的にペナルティーボックスに入りTOが時間計測後　出る。

周回中　いつ入るかは自由。
総合フィニッシュまでに入ること。

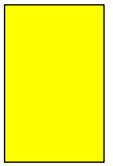
タイムペナルティ

・失格とならない違反に対する罰則であり、トランジションエリア、コース上のペナルティボックス及びコース上で与えられる。

・その場でのタイムペナルティ
ペナルティ対象の選手にイエローカードを提示にランコースの脇で安全に停止、ペナルティの時間を消化する。

○ドラフティング違反 →青色カード
- ミドルとロング ・・・・・ 5分
- スタンダード ・・・・・ 2分
- スプリント以下 ・・・・・ 1分

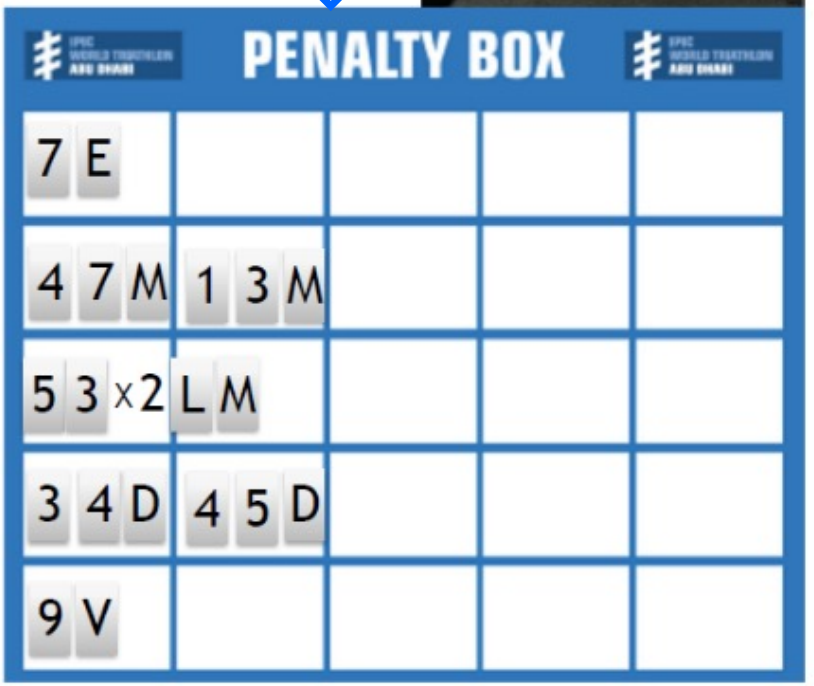
○その他の違反 →黄色カード
- ロング ・・・・・ 1分
- ミドル ・・・・・30秒
- スタンダード ・・・・・15秒
- スプリント以下 ・・・・・10秒



タイムペナルティ

ランペナルティボックスには「レースナンバーx回数 ペナルティの文字コード」

D：降車ライン違反
E：用具の容器外違反
S：スイムでの違反
L：投棄場所違反
M：乗車ライン違反
V：その他の違反
B：バイクでの違反
R：ランでの違反



1回のペルティ秒数スタンダード 15秒 ミドル 30秒 ロング 60秒

ドラフティング1回 スタンダード 2分 ミドル 5分 ロング 5分

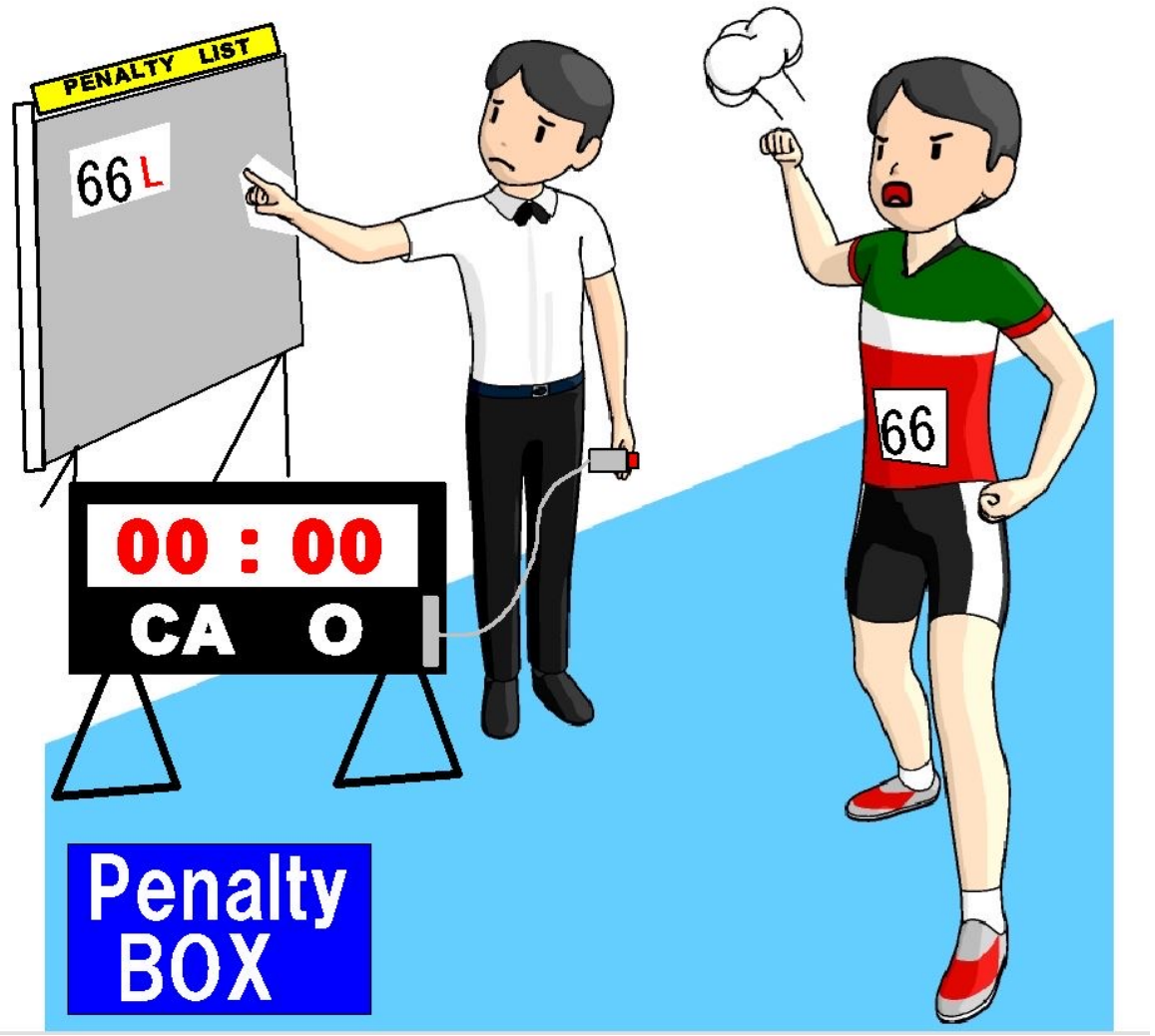
ペナルティーの表記方法

D:降車違反 ⇒Dismount
E:用具の収納違反 ⇒Equipment
S:スイムでの違反 ⇒Swim
L:用具.ごみ等の不当投棄 ⇒Litter
M:乗車違反 ⇒Mount
V:その他の違反 ⇒Violation
B:バイク　2022追加
R:ラン　2022追加

複数回の場合 x2 x3で表示

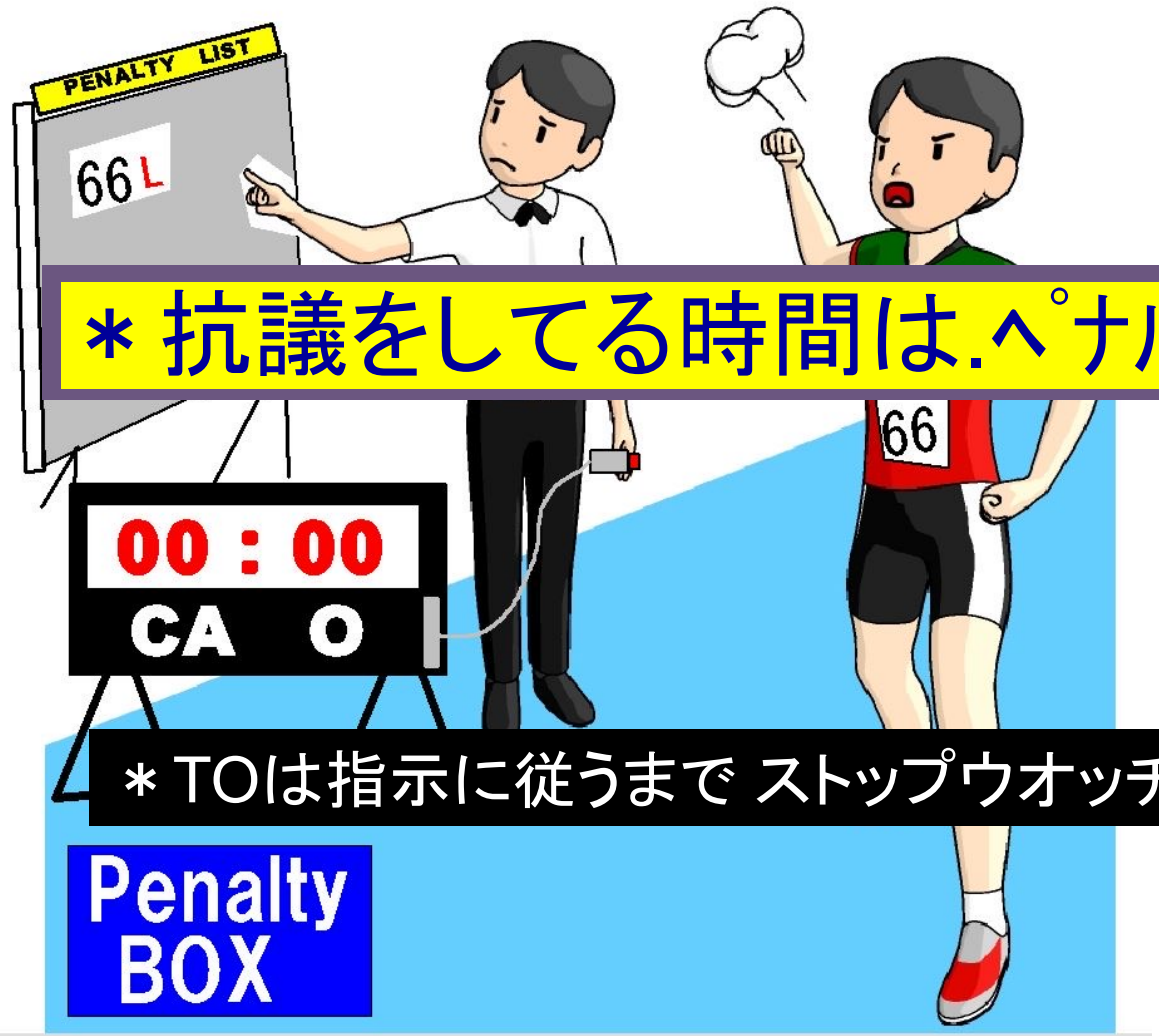
こんなときどうする?(TO.選手)

PBOXで選手⇒僕違反してません!(抗議)



こんなときどうする?(TO.選手)

PBOXで選手⇒僕違反してません!(抗議)



＊抗議をしてる時間は.ペナルティタイムに

入りません。

＊TOは指示に従うまで ストップウオッチを動かしません。

ペナルティのつけ方

次の方法による

・ペナルティーボックスにおいて

バイクコース上はNoの表記は無い

ランコース上にボックスを配置しNoの表記

原則　選手自ら入る(平等に案内してもよい)

総合フィニッシュまでに入らないと失格(DSQ)

（disqualified）

・フィニッシュ後にタイム加算

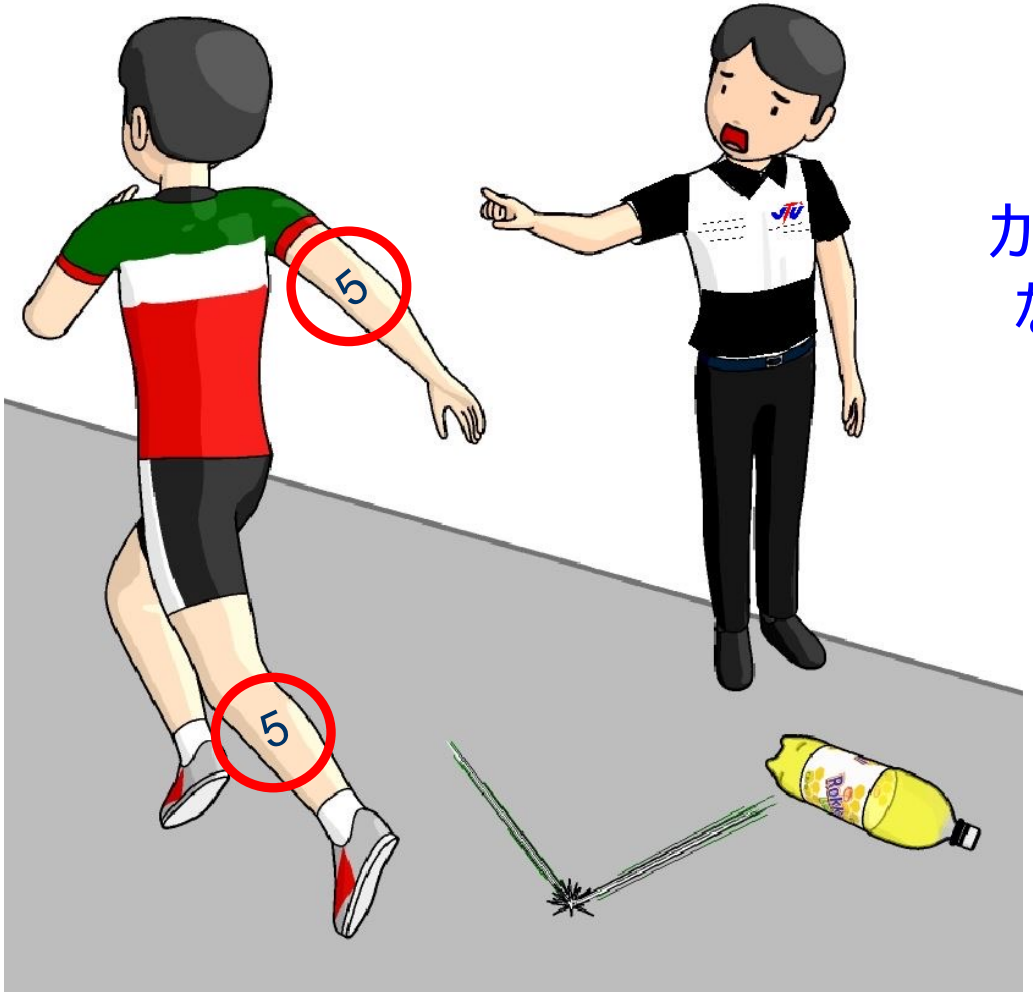
※　安全性優先し大会により適用が異なる

選手.審判.みんなが納得するようにするには

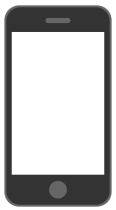
状況の写メ.ビデオを撮りましょう。

全体(遠景)写真+アップ写真

ＮＯも撮影



カメラ、スマホ
などで撮影



アップの写真だけだと……

状況がイマイチ……わかりづらい。

全体図(遠景)も撮りましょう

みんなで確認.連絡しましょう!

状況を報告....TO現場ﾁｰﾌ HR(審判長) TD(技術代表)へ

後の選手の邪魔にならないように 速やかにﾍﾟｯﾄボトルを取り除きましょう

ペナルティ/ 附則K・違反と罰則

違反事例15番

以前のITU大会で、エリート、U23、ジュニア、ユース、パラトライアスリートによる不自然、または意図的な同着

→ **DSQ**

東京の夏の酷暑にも見事に対応し、ワンツー・フィニッシュを決めたかに見えたイギリス勢（写真左からジョージア・テイラーブラウン、ジェシカ・リアマンス）だったが・・・©Kenta Onoguchi

レース距離と年齢

附則 A:レース距離と年齢要件

トライアスロン

	スイム	バイク	ラン	出場最低年齢
チームリレー	250 から 300m	5 から 8 km	1.5 から 2 km	15
スーパースプリント	250 から 500m	6.5 から 13 km	1.7 から 3.5 km	15
スプリント	750m 迄	20 km迄	5 km迄	16
スタンダード	1500m	40 km	10 km	18
ミドル	1900 から 3000m	80 から 90 km	20 から 21 km	18
ロング	1000 から 4000m	100 から 200 km	10 から 42.2 km	18

デュアスロン

	第 1 ラン	バイク	第 2 ラン	出場最低年齢
チームリレー	1.5 から 2 km	5 から 8 km	0.75 から 1 km	15
スプリント	5 km	20 km	2.5 km	16
スタンダード	5 から 10 km	30 から 40 km	5 km	18
ミドル	10 から 20 km	60 から 90 km	10 km	18
ロング	10 から 20 km	120 から 150 km	20 から 30 km	18

アクアスロン

	第 1 ラン	スイム	第 2 ラン	出場最低年齢
チームリレー	1.25km	500m	1.25km	15
チームリレー(低水温)		500m	2.5km	15
スタンダード	2.5 km	1000m	2.5 km	16
スタンダード(低水温)		1000m	5 km	16
ロング	5 km	2000m	5 km	18
ロング(低水温)		2000m	10 km	18

レース距離と年齢

ウィンタートライアスロン

	クロスカントリーラン	マウンテンバイク	クロスカントリースキー	出場最低年齢
チームリレー	2 から 3 km	4 から 5 km	3 から 4 km	15
スプリント	3 から 4 km	5 から 6 km	5 から 6 km	16
スタンダード	7 から 9 km	12 から 14 km	10 から 12 km	18

S3 ウィンタートライアスロン

	ラン	スケート	クロスカントリースキー	出場最低年齢
スタンダード	4 から 6 km	10 から 14 km	7 から 9 km	16

クロストライアスロン

	スイム	マウンテンバイク	クロスカントリーラン	出場最低年齢
チームリレー	200 から 250m	4 から 5 km	1.2 から 1.6 km	15
スプリント	500m	10 から 12 km	3 から 4 km	16
スタンダード	1000 から 1500m	20 から 30 km	6 から 10 km	18

クロスデュアスロン

	第 1 ラン	マウンテンバイク	第 2 ラン	出場最低年齢
チームリレー	1.2km から 1.6km	4 から 5 km	0.6 から 0.8 km	15
スプリント	3km から 4km	10 から 12 km	1.5 から 2 km	16
スタンダード	6km から 8km	20 から 25 km	3 から 4 km	18

アクアバイク

	第 1 ラン	バイク	出場最低年齢
スプリント	1500m	40 km	18
スタンダード	1000 から 4000m	100 から 200 km	18

TRIで改訂されたルールの一部紹介

ワールドトライアスロン（TRI）が2022年12月に発表した競技規則更新関連
説明文や和訳資料で、英文と和文に差異がある場合は、英文の意味を優先します。
”World Triathlon”は、TRIと略します。

1，エイジ部門でのフロントジッパーのユニフォームが使用可能となりました。
但し、ジッパーの長さは40cm以内。フロントジッパーは、フィニッシュの200mは閉める必要がありますが、それ以外は競技中に胸骨の端まで開けることができます。
エイジでロングやスタンダードの両方を出場している選手は、フロントジッパー付きのユニフォームでどちらも参加可能です。
また、タンスに保管している昔のユニフォームやバイクジャージも使用可能となりました。

2，ドラフティング許可のエリート大会ではクリップオンバーの使用が禁止になります。
国体などの車検でクリップオンバーの長さを測定・確認していましたが、クリップオンバーそのものが使用不可なので、車検の時に長さ測定は不要となります。

TRIで改訂されたルールの一部紹介

3, これまでヘルメットストラップはトランジにセットしてから外していましたが、ストラップのロック機構に触れる事が禁止になりました。
Touching the locking mechanism on the helmet while in possession of the bike in transition.
外さなくても触れるだけでペナルティの対象になりますので、トランジのTOはいかにそれを証明するかが課題で、動画や写真撮影が必要になりそうです。

4, ペナルティに”B”と”R”が追加になりました。詳細は競技規則を参照ください。ペナルティボックスのTO担当時は理解しておいてください。

https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2023/01/WorldTriathlon_Competition-Rules_JP_2023.pdf
https://www.jtu.or.jp/wordpress/wp-content/uploads/2023/01/c62bd6a838e28955483e739d9493e0d9.pdf
https://triathlon.org/about/downloads/category/competition_rules

以上

一般社団法人栃木県トライアスロン協会

TOCHIGI TRIATHLON ASSOCIATION